

## (2) 子育て・子育てのための環境づくり

### 放課後子ども教室事業(放課後子どもプラン)

NEW!

《担当：生涯学習課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
19年度	2,760	1,444	0	0	1,316

放課後・週末の子どもの居場所の確保、体験活動やスポーツ・学習機会の提供等を行います。

この事業は、次世代育成支援事業として地域や各団体・企業等と連携を図り、『放課後子どもプラン運営委員会』を設置し、『放課後子ども教室』として開催しています。

#### ●放課後子ども教室

〔開催教室〕 ソフトテニス、バドミントン、卓球、音楽、体験教室（よつばクラブ）

〔場 所〕 総合体育館、総合市民会館、大竹会館、栄公民館、小方公民館、大竹小学校

〔対 象〕 市内在住の保育所（幼稚園）年長から中学3年生までの幼児・児童及び生徒

〔参加人数〕 111人

### 放課後児童クラブ事業(放課後子どもプラン)

《担当：福祉課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	20,190	6,383	0	6,628	7,179
18年度	23,034	7,468	0	6,820	8,746
19年度	22,944	6,754	0	7,007	9,183

核家族化・女性の就労の増大などの生活環境の変化を踏まえ、共働きなどで児童の生活指導が難しい家庭の子育てを支援するため、大竹・小方・玖波の3小学校の敷地内に設置しているひかり・みどり・あすなる児童クラブにおいて、授業終了後に適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全育成を促進しました。

#### 【事業の実施状況】

名 称	所在地	定員(人)	18年度利用者数(人)	指導員数(人)
ひかり児童クラブ	大竹小学校	110	125	11
みどり児童クラブ	小方小学校	60	77	6
あすなる児童クラブ	玖波小学校	50	47	4
対象	大竹・小方・玖波小学校の1～3年生で、保護者の就労などにより、児童の生活指導が難しい家庭（※障害児については、4～6年生も受け入れの対象としています。）			
利用可能時間	〔通常利用〕 月～金曜日の下校時～17時 〔土曜日利用〕 8時～17時(要申請・加算料金有) 〔長期休暇(春・夏・冬休み)〕 8時30分～17時(夏休み期間のみ入会可) 〔長期休暇早朝利用〕 月～金曜日の8時～8時30分(要申請・加算料金有) 〔延長利用〕 月～土曜日の17時～18時(要申請・加算料金有)			

※利用者数は、短期的・一時的な利用者及び年度途中で退会された方も含めた年間の総利用者を計上しています。

#### 【利用者数の推移】

	17年度	18年度	19年度
総定員(名)	220	220	220
総利用者数(名)	208	245	249
総指導員数(名)	20	21	21
待機児童数(名)	0	0	0

## 大竹市こども相談室事業

《担当：総務学事課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	14,124	0	0	0	14,124
18年度	14,137	0	0	0	14,137
19年度	14,302	0	0	0	14,302

子どもに関する相談業務などの窓口を一本化し、幼児期から青年期まで一貫した相談を実施できる場所として「こども相談室」を設置するとともに、新たに不登校の児童・生徒に対して学習・生活面を支援し、自立への基礎を培うための教室を設置しています。

### 【事業の実施状況】

- 教育相談教室…教諭退職者の方による不登校の児童・生徒に対する授業・相談など

	17年度	18年度	19年度
相談件数	4,283	3,664	2,211
うち電話相談	224	198	238

※19年度から家庭児童相談については福祉事務所でを行っているため家庭児童相談分が減少しています。

- 青少年育成センター…補導員による街頭補導, 補導員会議, 教育相談など

## 少人数学級推進事業

(担当：総務学事課)

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
18年度	12,674	0	0	0	12,674
19年度	14,758	0	0	0	14,758

教師がゆとりを持って子ども一人一人にきめ細やかな指導を行えるようにするとともに、子どもたちが基本的な生活習慣や学習習慣の基礎を養えるよう、市内小学校3校の低学年を対象として、1学級30人以下になる少人数学級の編成を推進しています。

平成17年11月に国から「おたけ少人数教育特区」として認められたことを受け、市独自に3名の教員を採用し、学級担任として配置して、対象学年の学級数を各1学級増加することにより、30人を基準とする学級編成を実現しました。

### 【事業の実施状況】 各学年に対し1名ずつ教員を配置

対象学年	学級数	学級児童数(人)	学年児童数(人)
玖波小学校1学年	2	16, 17	33
玖波小学校2学年	2	16, 17	33
小方小学校2学年	3	26, 26, 27	79

## 特色ある教育活動支援事業

《担当：総務学事課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	9,795	0	0	0	9,795
18年度	9,868	0	0	0	9,868
<b>19年度</b>	<b>4,949</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>4,949</b>

平成11年度学習指導要領総則編では、「各学校が創意工夫を生かし、特色ある学校づくりをすすめること」とされており、児童生徒一人ひとりの個性を生かす教育を行うためには、各学校が児童生徒や地域の実態を充分踏まえ、「特色ある教育活動」を展開することが求められています。

学校を取り巻く様々な課題を解決するため、教職員の能力向上や、児童・生徒の基礎学力の定着、教育環境の整備などを図り、地域に信頼される特色ある教育活動への取り組みを支援しました。

### 【事業の実施状況】

(各学校の取り組み事例) 事業費 4,949千円

学校名	事業内容	事業費(千円)
玖波小	①英語活動推進事業 ②図書充実事業 ③緑化推進事業	462
松ヶ原小	①川柳づくり活動事業 ②手作り神楽充実事業 ③キャリア教育推進事業 ④生活・総合的な学習時間充実事業	164
小方小	①基礎・基本定着事業 ②キャリア教育推進事業 ③しろやまタイム充実事業 ④教育環境整備事業	759
穂仁原小	①国際交流事業 ②学力向上事業 ③印刷製本	145
阿多田小	①国際理解教育事業 ②地域学習事業 ③市内小中学校交流学習事業	140
大竹小	①英語活動事業 ②元気な学級作り事業 ③授業力向上校内研修会事業 ④国語力向上事業 ⑤表現力アップ事業	920
木野小	①国際交流事業 ②地域連携事業 ③大竹中学校区間学習交流事業	220
栗谷小	①花のある環境づくり推進事業 ②みどりの少年団活動の充実事業 ③複式授業の充実事業	215
玖波中	①基礎学力の向上事業 ②開かれた学校作り事業 ③「総合的な学習の時間」～福祉教育, 保育実習, キャリア教育, ことばの教育	414
小方中	①開かれた学校づくり事業 ②信頼される学校づくり事業 ③学校特色PR事業 ④キャリア教育推進プロジェクト事業	400
大竹中	①緑化事業 ②文化伝承事業 ③保育体験事業 ④親子パソコン事業 ⑤学力向上事業	1,010
栗谷中	①栗谷地区連携教育推進事業 ②「茶道教室」との連携による交流学習事業 ③キャリア教育推進プロジェクト事業	100

## 小・中学校施設安全対策事業

《担当：総務学事課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
18年度	13,732	0	0	0	13,732
19年度	28,911	0	0	0	28,911

※上記事業費には事務費も含まれています。

児童・生徒及び教職員の安全を確保するため、市内小中学校施設の点検を行い、危険な箇所や修繕が必要な箇所について適切な処置を施しました。

〔調査対象〕

耐震診断の結果、当面大規模改造事業及び耐震補強事業に入らない学校施設

### 【平成19年度事業の実施状況】

小方小学校外壁改修工事 23,485,350円

小方小学校A棟、B棟、体育館及び渡り廊下の老朽化などによる外壁の崩落危険箇所の改修工事を行いました。

小方小学校給水管改修工事 3,425,100円

小方小学校の給水管が老朽化して錆水が出ていたため、校舎の各階廊下に設置されている水のみ場を高置水槽式から直結直圧式に変更しました。

玖波小学校屋上防水補修工事 493,500円

玖波小学校の旧館図書室前の廊下から雨漏りがしていたため、屋上の劣化した防水シートを改修しました。

## 学習環境整備事業

《担当：総務学事課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
18年度	4,234	0	0	0	4,234
19年度	3,149	0	0	0	3,149

新学習指導要領に基づく教科書等のA版化への対応として、学習内容や学習形態に合わせた適切な机及びイスを整備し、学習環境の向上を図りました。

18年度は市内全ての中学校3年生教室のイス及び小学校6年生教室のイス・机を、19年度は市内すべての小学校5年生教室の学習机及びイスについて整備しました。

### 【19年度各学校の机・イスの整備状況】

玖波小学校 55脚      小方小学校 74脚      大竹小学校 142脚

木野小学校 2脚      栗谷小学校 4脚

## 子育て支援センター運営事業

《担当：福祉課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	127	5,194	0	0	△ 5,067
18年度	125	5,182	0	0	△ 5,057
<b>19年度</b>	<b>119</b>	<b>4,942</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>△ 4,823</b>

※ 国県支出金は、職員人件費を含んだ補助金の額を掲載しています。

地域全体で子育てを支援する環境づくりを行う拠点として、子育て支援センター（通称：どんぐりHOUSE）を開設・運営し、育児不安に対する相談指導や子育てサークルなどの育成・支援を行っています。

### 【事業の実施状況】

〔開館日数〕 245日 毎週月～金曜日（祝日・年末年始を除く）

〔開館時間〕 10時～16時30分（12時～13時を除く）

〔利用料〕 無料

〔利用対象〕 市内在住の小学校就学前の子どもと保護者、ボランティアの方

〔年間利用者数〕 10,161人

## 松ヶ原こども館(つどいの広場)事業

《担当：福祉課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	5,803	2,817	0	0	2,986
18年度	15,648	2,212	0	10,000	3,436
<b>19年度</b>	<b>5,616</b>	<b>2,370</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>3,246</b>

松ヶ原こども館は、平成16年3月末に閉館した松ヶ原児童館の施設を利用し、「市民参画」による新たな子育て支援施設として、平成16年7月にオープンしました。

建物の管理は、指定管理者である「松ヶ原町自治会」が行い、運営はNPO法人「ほのぼのん」に委託実施し、子育て支援センターと同様に、地域の子育て支援の拠点として、主に子育て相談、親子の交流の場の提供、子育て情報の提供などを実施しました。

地域づくりに地元自治会が積極的に取り組んでおり、子育てに対する支援を、地元の方々との「協働」によって実現した事業です。

また、平成19年3月に、すべり台やアスレチック系遊具など30種類以上のアイテムを備えた大型複合遊具を設置しました。この大型遊具「森の遊園地」の設置費用は、全額宝くじの「共生のまちづくり助成事業」の補助対象となっています。（設置事業費 10,000千円）

なお、県道栗谷大野線道路改修工事により、平成19年12月から平成20年6月までの間、旧松ヶ原小学校で実施しました。

### 【事業の実施状況】

〔開館日数〕 142日

毎週月・水・金曜日・第3土曜日（※臨時開館・休館日あり）

〔開館時間〕 10時～16時

〔利用料〕 無料

〔利用対象〕 乳幼児・小中学生とその保護者（市民に限らず）

〔年間利用者数〕 3,815人（1,629組）

## 要保護児童対策協議会運営事業

NEW!

《担当：福祉課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
19年度	26	0	0	0	26

要保護児童およびその保護者に関する情報その他要保護児童の適切な保護を図るために平成19年3月に協議会を設置し、児童・保護者の支援に必要な情報交換および支援の内容に関する協議を行いました。

### 【事業の実施状況】

協議会は代表者会議と個別ケース検討会議の2層構造となっています。

平成19年度は、第1回代表者会議を開催し、個別ケース検討会議を22回開催しました。

#### ○代表者会議

こども家庭センター・警察・地域保健所・医師会・教育委員会・民生児童委員協議会等16の関係機関の代表者で組織されています。

#### ○個別ケース検討会議

ケースに応じて、こども家庭センター・警察・保健所・医療機関・民生児童委員協議会・要保護児童の在籍する機関（学校・幼稚園・保育所等）教育委員会等および家庭児童相談員で行っています。

## すこやか保育・環境整備事業

《担当：福祉課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	3,823	0	0	0	3,823
18年度	1,836	0	0	0	1,836
19年度	3,412	0	0	0	3,412

安全・快適な保育環境を子どもたちに提供し、子どもたちが健全に育つことができるようにするとともに、これからの保育サービスに対応していけるよう、必要な保育環境の改善を随時実施するとともに、老朽化した市内保育所の改修工事を実施しました。

また、平成19年度は市内保育所遊具の専門家による安全点検及び改修を実施しました。

### 【事業の実施状況】

(千円)

実施年度	事業内容	事業費計
17年度	・エアコン整備（本町保育所2台、なかはま保育所2台） ・各保育所改修工事	3,624
18年度	・エアコン整備（大竹保育所2台、立戸保育所2台） ・各保育所改修工事	1,740
19年度	・エアコン整備（本町保育所2台、なかはま保育所2台） ・各保育所改修工事	3,412

## 母子自立支援事業

《担当：福祉課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	37	27	0	0	10
18年度	100	75	0	0	25
<b>19年度</b>	<b>998</b>	<b>673</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>325</b>

市内在住の母子家庭の母親で、指定された要件に該当する方を対象として、母子家庭の自立を促進するための就労支援として、就業のための教育訓練講座を受ける費用を補助するとともに、看護師など、2年以上の修学期間を要する資格の取得にかかる訓練促進費の支給を行いました。

### 【制度の説明】

#### ●自立支援教育訓練給付金

〔給付対象となる講座〕雇用保険制度の教育訓練給付の指定教育訓練講座など

〔支給率〕対象経費の20%（上限10万円、下限4,001円）（平成19年10月1日から変更）

#### ●高等技能訓練促進費

〔給付対象となる資格〕看護師、介護福祉士、保育士、理学療法士など

〔支給額〕修学期間の最後の1/3に相当する期間で、12カ月上限とし、月額

10万3,000円

### 【19年度実績】

自立支援教育訓練給付金を2名に支給（ホームヘルパー講座・簿記講座を受講）

高等技能訓練促進費を1名に支給（介護福祉士）

## 児童手当

《担当：福祉課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	127,874	110,212	0	0	17,662
18年度	166,235	117,870	0	0	48,365
<b>19年度</b>	<b>192,092</b>	<b>138,923</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>53,169</b>

一定の所得要件に該当する、小学校修了前の児童を養育している方に対し、手当てを支給します。

国の制度改正に伴い、平成18年度から、支給の対象を小学校3学年修了前から小学校6学年修了前に拡大しました。また、平成19年度から、3歳未満の乳幼児は出生順位にかかわらず、一律月額10,000円となりました。なお、第1子・第2子は、3歳の誕生日の翌月から月額5,000円となります。

### 【支給実績】

年度	支給月額(円)	対象児童数(人)	支給額(円)	支給額計(円)	受給者数(人)
17年度	5,000	19,130	95,650,000	127,510,000	1,481
	10,000	3,186	31,860,000		
18年度	5,000	25,290	126,450,000	165,780,000	1,618
	10,000	3,933	39,330,000		
19年度	5,000	21,092	105,460,000	191,700,000	1,631
	10,000	8,624	86,240,000		

## 乳幼児等医療助成事業

《担当：保健介護課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	41,273	( 20,014 ) 21,518	0	0	( 21,259 ) 19,755
18年度	41,390	( 18,969 ) 20,569	0	0	( 22,421 ) 20,821
19年度	36,671	( 17,713 ) 18,411	0	0	( 18,958 ) 18,260

※乳幼児医療助成に係る県補助金は、その年度の実績に基づき、次年度に返還あるいは追加交付される仕組みとなっており、「国県支出金」の金額のうち、( )書きの数字は、返還あるいは追加交付後の金額です。

疾病の早期発見と治療の促進を図り、乳幼児などの健やかな成長を支えるため、乳幼児などに係る医療費の自己負担分の一部を助成しました。

県の制度に準じて小学校就学前までの乳幼児の入院・通院に対して助成を行うとともに、市独自の制度として、小学校就学中の児童の入院についても助成を行いました。

### 【一部負担金及び支払日数】

保険医療機関、保険薬局等ごとに、1日につき500円

入院（月14日まで）

通院（月4日まで）

柔道整復、あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう（月4日まで）

### 【受給者数の状況（月平均）】

年度	県費対象者	市費対象者	合計
17年度	1,306人	498人	1,804人
18年度	1,295人	691人	1,986人
19年度	1,265人	800人	2,065人

## 親子ふれあい事業

《担当：生涯学習課・保健介護課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	134	130	0	0	4
18年度	163	※ 0	0	19	144
19年度	143	※ 0	0	19	124

※総事業費のうち、文部科学省の家庭教育支援総合推進事業費として、大竹市の本事業の実行委員会に対して直接助成されており、市の実際の支出額（決算額）は残りの部分となります。

※17～19年度の国庫支出金である「次世代育成支援対策交付金」は、様々な事業の財源として国から交付されるものですが、各事業ごとの交付額は国から提示されていないため、平成18・19年度については数値の記載を行っておりません。

1歳6ヶ月健診時に、保育士などによる相談・助言を行ったほか、保健師や保育士などとの連携により、主に就学時前の児童に対して、各年齢期に応じた様々な支援事業を実施しました。



## 【事業の実施状況】

### ●こそだてじゅく「ひよこルーム」事業

遊びやレクリエーションなどを通じて、親同士、子ども同士のふれ合いを深めるとともに、保護者の育児ストレス解消と、子育てが楽しいと思える環境づくりを図りました。

〔実施回数〕 8回

〔参加者数〕 親子19組38人

### ●乳幼児教育講座「親子体操」

在宅児童の家庭を対象として、親子で一緒に体を動かすことにより、親子のスキンシップを図るとともに、乳幼児の運動機能を育成し、乳幼児を持つ保護者の子育てを支援しました。

〔実施回数〕 12回(前・後期各6回)

〔受講者数〕 前期：114組228人、後期：205組410人(計319組638人)

### ●こそだて支援講演会

「ひよこルーム」事業の一環で、子育てに関する情報提供の場として、乳幼児を持つ保護者を対象とした「こそだてじゅく講演会」、小学生、中学生の保護者を対象とした「青少年育成講演会」を開催しました。

・こそだてじゅく講演会

〔開催日〕 平成19年9月8日(土)

〔開催場所〕 総合市民会館

〔参加者数〕 22人

・青少年育成講演会

〔開催日〕 平成19年11月17日(土)

〔開催場所〕 アゼリアホール

〔参加者数〕 250人(P T A等含む)

### ●えほんでハートフル事業

平成15年10月からこども課・保健医療課・図書館が連携しながら大竹市独自の 방법으로、実施しています。

4ヶ月児健診(乳児検診)、1歳6ヶ月健診時の待ち時間を利用して、読書ボランティアの協力によって絵本の読み聞かせを実施し、親と子が肌のぬくもりを感じながら、ことばと心を通わすかけがえのないひとときを「絵本」を介して持つことを支援しました。また、家庭における読み聞かせを継続していただくため、併せて図書館の利用を勧めるようにしました。

〔実施回数〕 毎月1回ずつ(年計24回)

〔参加者数〕 403組

### ●公民館の子育て支援講座

子育てに関する様々なイベントに、身近な場所で参加できるよう、各地区公民館において子育て支援講座を実施しました。

《栄公民館》

〔講座〕 親子でリトミック、育児相談付き料理教室など

〔受講者数〕 88人

《小方公民館》

〔講座〕 親子エアロビクス

〔受講者数〕 60人

《大竹会館》

〔講座〕 マタニティーヨガ

〔受講者数〕 23人

### 【各事業の参加者(受講者)数の推移】

	ひよこルーム(組)	乳幼児教育講座(組)	こそだて支援講演会(人)	えほんでハートフル(組)	公民館子育て支援講座(人)
17年度	20	82	50	204	168
18年度	19	357	245	396	88
19年度	19	319	272	403	171

# 母子保健指導事業

《担当：保健介護課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	806	( 5 ) 0	0	0	( 801 ) 806
18年度	1,869	0	0	0	1,869
<b>19年度</b>	<b>2,155</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>2,155</b>

※母子保健指導に係る県補助金は、その年度の実績に基づき、次年度に返還あるいは追加交付される仕組みとなっており、「国県支出金」の金額のうち、( )書きの数字は、返還あるいは追加交付後の金額です。

母子保健に関する情報提供や健康相談、育児に関する相談・仲間づくりなどの場を提供するための各事業を実施し、母子の健全育成を図りました。

## ●パパママスクール [実施回数] 年6回(3回×2コース)

主に初めて父親・母親になる人を対象に、妊娠中の健康管理、夫婦で協力して行う育児の方法などについて指導を行いました。また出産後も交流できるような仲間づくりを促しました。

## ●乳児健康相談, 1歳6ヶ月児健康診査, 3歳児健康診査 [実施回数] 年各12回

4ヶ月児, 1歳6ヶ月児, 3歳児を対象に、身体発育測定、精神・運動機能の発達チェック、育児・栄養相談などを行い、乳幼児の健康状態を確認し、疾病や障害などの早期発見及び適切な治療や療育がなされるための支援を行いました。3歳児健診では、食への関心を深めることを目的として、お団子作り・試食の体験を行い、レシピ紹介・栄養アドバイスを食生活推進員と一緒に行いました。

## ●ふれあいサロン [実施回数] 年24回

おおむね1歳までの子とその保護者を対象に、身体測定、育児相談、栄養相談、母乳相談などにより、育児不安の解消を図るとともに、仲間づくりの場の提供を行いました。

## ●タッチケア講習会 [実施回数] 年18回

赤ちゃんへのマッサージを通じ、母性への愛着の向上を図りました。加えて、育児不安の軽減、仲間づくりの場の提供を行いました。H19年度は、乳児健康相談時に加え、ふれあいサロンに併設の形で年6回開催しました。

## 《新規》 幼児育成支援教室 [実施回数] 年10回(5回×2コース)

1歳6ヶ月児健康診査等において要経過観察となった幼児とその母親を対象に、こども発達支援センターの専門職員による教室を開催し、母子関係の向上を図り、発達を促す支援を行いました。また、必要に応じて療育機関への連携を行いました。

## 《新規》 こんにちは赤ちゃん訪問 [実施回数] 随時

生後4か月までの乳児のいる家庭を、保健師等が訪問して様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供を行いました。19年度は、20年度の本格実施に向け、訪問者(児童委員等)に対する研修を行いました。

## 【各事業の参加者(受診者)数の推移】

年度	パパママスクール(人)			乳児健康相談(延人数)	1歳6ヶ月児健康診査(人)	3歳児健康診査(人)	ふれあいサロン(組)	タッチケア講習会(組)	幼児育成支援教室(人)	こんにちは赤ちゃん訪問(組)
	パパ	ママ	計							
17年度	26	77	103	217	209	206	299	42	—	—
18年度	43	90	133	203	210	192	366	186	—	—
19年度	35	45	80	195	192	202	440	226	122	118

# 不審者対策等防犯事業

《担当：総務学事課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
18年度	900	0	0	0	900
19年度	500	0	0	0	500

子どもを狙った凶悪犯罪が増加傾向にあり、大竹市内においても不審者などの情報が後を絶たないことから、児童・生徒の安全を確保するとともに、市民の防犯意識を高めることを目的とします。

## 【事業の実施状況】

- 《緊急連絡網システム（平成18年度から）》

犯罪を未然に防ぐためには、巡回警備等と迅速な情報伝達が有効であり、平成18年度から学校から保護者に対してのメール連絡網も行っています。これにより、不審者発見の情報が迅速に伝わり未然に犯罪を防ぐ一助となります。また、市民に対しても防犯意識が高まるなどの効果を期待できます。

### <平成19年度>

巡回警備等に必要な防犯関係用具を整備しました。

玖波小学校	24,920円	各教室・職員室等に防犯ブザー、催涙スプレーを常備
松ヶ原小学校	9,897円	交通安全プレート、防犯チャイム等購入
小方小学校	35,000円	学校地域安全懇談会の開催、地域安全マップ作成と発表
穂仁原小学校	10,000円	不審者対応避難訓練、自転車の乗り方指導
阿多田小学校	10,000円	地域安全マップ作り
大竹小学校	50,000円	安全啓発資料作成、危険区域の明示 (車両侵入路にカラーコーンの設置等)
木野小学校	45,000円	交通安全啓発用具の作成、通学路の点検
栗谷小学校	10,000円	子ども見守り活動幟の購入
玖波中学校	24,750円	セキュリティー機能付フラッシュメモリの購入
小方中学校	30,000円	校内危険箇所の明示（安全標識等）
大竹中学校	40,000円	生徒指導用DVD購入
栗谷中学校	10,000円	子ども見守り活動幟の購入
大竹市PTA連合会	200,000円	子ども安全幟旗の設置

# 大竹市教育研究会運営事業

《担当：総務学事課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
18年度	2,259	0	0	0	2,259
19年度	2,349	0	0	0	2,349

大竹市教育研究会は、教育委員会及び市内小中学校の教職員で構成される団体であり、教育活動促進と学校教育発展向上を目的として、平成18年4月に新たに設立されました。会は、小中学校部会で各教科並びにその他の専門部会で構成され、教職員は、教科並びに専門部会等に属し、教育に関する各問題の調査研究・研修等を行っています。市は、この活動に必要な経費を負担することで、教職員の自主的な研究や学校間の連携を支援しています。

## 【大竹市教育研究会】

### ●小学校部会

教科部会	専門部会
国 語	生活・総合的な学習の時間
社 会	道 徳
算 数	特別活動
理 科	特別支援教育
音 楽	視聴覚教育
図画工作	図書館教育
家 庭 体 育	健康教育 学校事務

- ・水泳記録会、陸上記録会の実施
- ・児童文集「竹の子」の編集

### ●中学校部会

教科部会	専門部会
国 語	道 徳
社 会	特別活動
数 学	生徒指導
理 科	特別支援教育
音 楽	情報教育
美 術	学校図書館
保健体育	総合的な学習
技 術	人権教育
家 庭 養 護	学校事務

### ●小・中学校部会連携した取組み

生徒指導連携事業、学力向上事業、キャリア教育推進事業、  
道徳・ことばの教育推進事業

# 奨学金貸付事業

《担当：総務学事課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	24,285	0	0	33,769	△ 9,484
18年度	26,280	0	0	31,077	△ 4,797
19年度	22,476	0	0	34,334	△ 11,858

※過年度貸し付け分の回収額が含まれるため収入額が事業費を上回っています。

扶養者が本市に居住し、優良な生徒などであって、かつ経済的な理由により就学困難な者を対象に、大竹市奨学金貸付審議会に諮って学資の貸付を行い、有用な人材の育成を図りました。

### 【実施状況】

- 〔貸付人数〕 ・新規貸付者：12人  
・継続貸付者：41人 (計：53人)

- 〔選定方法〕 主に申請者の学業成績、世帯の経済状況を選定の基準として、大竹市奨学金貸付条例に基づき、大竹市奨学金貸付審議会への諮問を経て市長が選定

### 【貸付人数の推移】

	17年度	18年度	19年度
新規貸付者(人)	14	16	12
継続貸付者(人)	44	45	41
計	58	61	53

## 中学生交歓交流事業「少年平和大使」

《担当：生涯学習課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	1,406	0	0	480	926
18年度	480	0	0	46	434
19年度	1,420	0	0	480	940

市内中学生が、平成4年度から友好交流を続けている沖縄県豊見城市中学生とホームステイ、平和学習、体験学習などを通して友情を深め、広い視野を持つことで次代を担う人材の育成を図ります。

平成19年度に大竹市中学生が豊見城市を訪問しました。

### 【事業の実施状況】

〔参加人数〕大竹市中学生 16人  
豊見城市中学生 8人

〔事前研修〕2回（うち1回は1泊2日の宿泊研修）

〔本 研 修〕8月15日～19日（2泊3日：大竹市内でホームステイ）

○平和学習（ひろしまの塔・ひめゆり記念館・平和祈念資料館等の見学）  
戦争体験を聞き平和学習

○体験学習 沖縄の紅型の体験学習

今後参加人数を増やすため、PR用のスライドを作成し、より多くの機会を利用して多くの中学生、保護者に周知していきます。

## 青少年健全育成事業

NEW

《担当：生涯学習課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
19年度	1,000	0	0	1,000	0

11月の全国青少年健全育成強調月間に併せて、家庭教育の充実を目的に「親の力」を学びあう学習プログラムと子どもに夢を持ち続け努力することの大切さを山本博さんに「20年かけて銅から銀へ」アテネオリンピック銀メダリストからのメッセージと題し講演いただきました。宝くじコミュニティ助成金を活用しました。

### 【事業の実施状況】

〔と き〕11月17日（土）14:00～16:30

〔と ころ〕アゼリアホール

〔内 容〕・「親の力」を学びあう学習プログラム

講師：広島県生涯学習センター職員

・「20年かけて銅から銀へ」

～アテネオリンピック銀メダリストからのメッセージ～

講師：山本博（日本体育大学准教授）

〔参加者数〕250人

# おおたけっ子らんらんカレッジ事業

《担当：生涯学習課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	270	0	0	0	270
18年度	312	0	0	0	312
<b>19年度</b>	<b>295</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>10</b>	<b>285</b>

市内在住の子ども達と保護者を対象に、休日や長期の休みを利用して、「ものづくり」や「体験学習」など学校外での学習・体験活動の場を提供し、学習や社会活動に主体的に取り組む姿勢・協調性・社会参加意識の育成を図りました。

開催された教室の中には、ボランティア指導者である「らんらんサポーター」の協力を得て行われたものもあります。

## 【19年度の事業の特徴】

- ①前年度の講座終了時に参加者を対象に実施したアンケート結果に基づき、講座の内容、開催時期等について参加者のニーズに応えられるように企画しました。
- ②官庁、企業などとの連携をはかり、より学習効果の高い魅力的な教室の開催を目指しました。
- ③子どもが保護者同伴で参加できる講座を数多く企画し、家庭教育としての側面も考慮しながら実施しました。

## 【各事業の概要と実績】

名称	内 容	実施日(期間)	教室数	参加人数	らんらんサポーター延べ人数
サマー スクール	夏休みの工作・マジックショー・陶芸教室・アウトドアクッキングなど	夏休み 期間中	38	1,343	11
ウインター スクール	クリスマスケーキ作り・父親の家庭教育参加促進事業・絵本の読み聞かせなど	冬休み 期間中	8	260	2
ウインター スクール第2弾	スノーボード教室・たこ作り・流し雛作り・チョコレートケーキ作り教室など	2月～3月	5	124	1
一般事業	いもほり体験教室	11月	2	68	—

年度	開催教室数	受講者数(人)	1教室あたりの平均受講者数(人)
17年度	48	1,202	25.0
18年度	57	1,690	29.6
19年度	53	1,795	33.8

## 就学前教育充実事業

《担当：総務学事課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	10,795	2,560	0	0	8,235
18年度	10,312	2,739	0	0	7,573
19年度	10,961	2,890	0	0	8,071

本市に居住する3～5歳児が就園する私立幼稚園の設置者が、園児の保護者の所得に応じて入園料及び保育料を減免する場合、大竹市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に基づいて補助金を交付し、就学前教育の充実と幼稚園教育の振興を図りました。

## 学校教育推進事業

《担当：総務学事課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	2,005	0	0	0	2,005
18年度	1,940	0	0	0	1,940
19年度	1,791	0	0	0	1,791

市内小・中学校の教職員の校内研修の充実や、児童・生徒の各種体育競技大会及び文化活動関係大会参加に対する補助など、様々な観点から学校教育を推進していくための事業を実施しました。

### 【実施状況】

#### ●教職員研修充実事業（171千円）

教職員の専門性・知識・指導力などの向上を図るための研修を充実させるとともに、授業内容や方法、教育における諸問題などについて、教職員同士が協同的活動を通じて深く掘り下げて追求し、自己研鑽を行うための校内研修を実施しました。

#### ●児童・生徒の各種体育競技大会及び文化活動関係大会参加補助事業（1,620千円）

児童・生徒の体力向上や、学校教育における体育・音楽教育の振興、保護者負担の軽減を図るために、市外で開催される各種体育競技大会及び各種文化活動関係大会への市内小・中学校の児童・生徒の参加に要する経費に対して補助金を交付しました。

〔補助率〕 対象経費の5.5/10

## 小学校耐震診断事業

《担当：総務学事課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	4,725	0	0	0	4,725
18年度	0	0	0	0	0
19年度	2,697	0	0	0	2,697

※上記事業費には事務費も含まれています。

校舎耐震化優先度調査(※)の結果、優先度が高いと判断された校舎のうち、平成17年度に大竹小学校校舎南棟及び玖波小学校旧館の耐震診断を行いました。平成18～19年度に大竹小学校校舎北棟の耐震診断を実施しました。

### 【※校舎耐震化優先度調査結果】

優先度ランク1	玖波小旧館, 阿多田小校舎, 大竹小校舎南棟, 木野小校舎, 小方中図書室
優先度ランク2	なし
優先度ランク3	玖波小新館, 小方小校舎A棟及びB棟, 大竹小校舎北棟, 小方中校舎2棟
優先度ランク4	穂仁原小校舎, 大竹小校舎南棟(増築部分), 玖波中校舎, 小方中校舎1棟, 栗谷中校舎
優先度ランク5	玖波小体育館, 小方小体育館, 大竹小給食棟, 玖波中体育館

優先度ランクの数字が小さい施設ほど耐震診断の必要性が高いと判断

## 学校給食衛生管理推進事業

NEW!

《担当：総務学事課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
19年度	1,168	0	0	0	1,168

市内学校給食実施校(小学校5校)の施設については、ウエット方式のため、調理工程の一部をドライ運用に切り替えることにより、安全・安心な給食を提供するために見直しました。

### 【実施状況】

学校給食実施校：玖波, 小方, 阿多田, 大竹, 栗谷の各小学校

松ヶ原小学校分も調理・配達

穂仁原小学校, 木野小学校分も調理・配達

栗谷中学校分も調理・配達

全校でドライ運用への対応を実施。エプロン, ドライ用靴の購入ほか, 水が床に落ちないように調理器具を改修しました。

消耗品：569千円

修繕料：284千円

備品購入：315千円